



南アルプスジオパーク・
南アルプスユネスコエコパーク構想

もっと 南アルプスを知ろう

問 世界自然遺産登録推進室

南アルプスの入り口 「戸台」

深い谷の中にある長谷黒河内の戸台集落、かつては南アルプスの登山口、林業などで栄えていましたが、林業の衰退に伴い、今では数戸が残るのみとなりました。

昭和55年、南アルプス林道バスの運行が開始され、多くの登山者が訪れるようになりました。現在、南アルプス林道バス営業所周辺の名称を「南アルプス戸台口」とすることの検討が進められています。

また、戸台では、約1億2千万年前の地層からアンモナイトの化石が出ます。1986年に発足した「戸台の化石」保存会では、毎年、現地で化石採集学習会を開いており、多くの子どもたちが古代のロマンを楽しく学ぶ舞台にもなっています。



深い谷の中の戸台集落



戸台の化石学習会